

医療 Q&A

-第3回-

アレルギー性結膜炎について

Q アレルギー性結膜炎の発症原因や予防法など教えて下さい。

A アレルギー性結膜炎とは、目の表面に花粉などのアレルギー反応を引き起こす物質が付着して、結膜に炎症を起こす病気です。

症状としては、目のかゆみやゴロゴロする感じ(異物感)が主な症状で、涙が出たり、目やにが出ることもあります。非常に症状が強い場合には、視力障害により仕事や学校などの日常生活にも支障を来すことがあります。

治療の基本は、点眼薬の使用で日常生活に支障がないように、かゆみの症状を軽くすることが中心です。アレルギー性結膜炎のなかでも、症状の出やすい時期が予測できる花粉などが原因のアレルギー症状の場合には、『初期療法』という考え方があります。症状が出る前、花粉飛散時期の約2週間前から、または症状が少しでもあらわれたら、抗アレルギー点眼薬による治療を始める方法で、花粉飛散ピーク時の症状が軽くなります。毎年花粉症がひどい場合は、症状があらわれる前に眼科を受診することをすすめします。また、抗アレルギー点眼薬は比較的副作用の少ない薬です。使用中は勝手に中断することなく、眼科医の指示に従って使うことが大切です。アレルギー性結膜炎の対策のポイント

は、日常生活でできるだけアレルギー物質に触れないことです。花粉症の場合は、症状の出現しやすい季節にできるだけ花粉と接しないように工夫することが重要で

す。ゴーグル型の眼鏡や花粉防止用のマスクの着用が効果的です。花粉が飛びやすい日は外出や洗濯物などを外に干すことを避けたり、外出から帰宅したときには服についた花粉を十分に落とすようにしましょう。ハウスダストの場合は、部屋の清潔を心掛けたり、寝具を天日干したりするのも効果的です。

アレルギー性結膜炎は、時期が過ぎれば治るものだけでないものや専門医の治療を受けないと視力障害を残す可能性のあるものまでさまざまな程度の病気があります。体質だから仕方ないとあきらめたり、逆に簡単に考えずに、人生を快適にそして豊かに過ごすためにも、目のアレルギーを十分知って、つきあっていくことが現代人には大切なことだといえるでしょう。



眼科
白内障手術・硝子体手術
中山眼科
院長 中山 雅雄 先生
日本眼科学会認定眼科専門医
眼科PDT(光線力学療法)認定医

福山市川口町4丁目21番31号
☎(084) 954-9000
<http://www.nakayama-ganka.jp/>

●診療時間

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前(9時~12時)	○	○	○	○	○	○
午後(15時~18時)	○	手術	手術	○	○	—

●土曜午後、日曜、祝日休診